

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	いろどりキッズ白河	公表日	8年 3月 13日
------	-----------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		状況に合わせてスペースを確保したり活動内容によって部屋の使い方を工夫しています。	基準は満たしています。状況に合わせてスペースを分けていきたいです。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	適切な人数を配置していますが、その日の職員人数に応じて支援内容を変更して安全に過ごせるようにしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		絵カードや表示等で視覚的にわかりやすい環境を作っているがバリアフリー化はしていないです。 <small>日々話し合い改善しています</small>	児童にあった視覚支援等見て、よりわかりやすいよう工夫していきます。安全面は常に配慮していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日の整理整頓を行い心地よく安全快適に生活や活動ができるよう工夫しています。 <small>子ども達の様子に合わせて保育室の環境を整えています</small>	引き続き子どもたちの様子に合わせて環境を整えていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		・個室として使用できる部屋があります。 ・必要に応じて個別の療育や切り替えが難しい時など保育者と一対一での関わりの中で使っています	引き続きおこなっていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		PDCAサイクルを心がけ会議等で話し合い業務改善に努めています。	今後も支援方法や課題について、話し合いや評価をしその都度、業務改善をおこなっていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保育者向けの評価表を実施し、意見等を把握し、改善に繋げています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		職員向けの評価表を実施し、意見等を把握し業務改善に繋げています。	会議などを使って設けています。引き続きおこなっていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		現在は外部評価をおこなっていません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3		機会があれば外部研修を受講したり定期的に内部に研修をおこなっています。	引き続き検討して確保していきたいです。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		管理者、児発管が中心となって作成しHPに公開されています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		保護者の方と定期的に面談を実施し利用児の発達状況や課題、保護者の方のニーズを聞き取りそれに基づいて支援計画書を作成しています	引き続きニーズや課題を分析していきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		職員会議やケース検討会の中で共通理解を図っています。	今後も職員間で話し合う機会を設けて情報交換をしていきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		一人ひとりの支援計画書を把握、共有し支援をおこなっています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		行動観察や日々の変化を確認しています。	より情報を得られるように職員間で定期的に話し合いの場を作っていきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		発達状況の把握や要望等お伺いし支援に必要な項目を選択し具体的な内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		子ども達の様子や状況に合わせて内容を立案し、職員間で確認と調整をおこない進めています。	活動内容を広げていくためにも職員間で話し合いをしていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		職員間で話し合い活動プログラムが固定化しないように工夫し日替わりでのプログラムを組んでいます。	日々話し合いをおこない新しいものも作り上げていきたいです。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		一人ひとりの発達や状況に合わせて個別療育と集団活動を組み合わせた支援計画書を作成しています。	職員間で話し合いバランスをみておこなっていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		ミーティングを行い子どもたちの状況や活動内容支援方法や連絡事項等を確認し申し送りノートにも記入し全職員が共有できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		申し送りノートを活用し、必要に応じて話し合いの場を設けています。翌日のミーティングでも周知すべき内容や子ども達の様子等を伝え共有し把握しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		日々の連絡帳の記載や個別の記録を残し支援の検証、改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		モニタリング、ケース検討を行い、子どもの様子や支援方法について評価し支援内容の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		主に児童発達支援管理責任者が参画しています。	職員間で情報共有し理解を図っていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		地域の保健師さん相談支援専門員さん保育園、幼稚園小学校と連携し支援体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		入所時に保護者の方から同意を得て相談支援員さんと連携しながら情報交換、共有、相互理解を図っています。	引き続き情報共有と相互理解を図りながらおこなっていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		就学するお子さんに対して園での様子や配慮することなど情報をお伝えし相互理解を図りスムーズに学校生活に移行できるように努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3		他事業所との連携を図り、必要に応じて助言等をしていただくこともあります。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	交流や活動の機会は設けていないが、保育参観では親子活動を取り入れ保育者同士の交流の場にもなるような内容でおこなっています。	交流の機会は設けていないので今後検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		連絡帳の記入や送迎時にして保護者の方と情報共有を図っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	保護者への他事業所で実施しているペアレントプログラムの案内させていただいています。	今後参加いただける保護者への研修を検討します。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に重要事項説明や料金等について説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		定期的な面談時に情報共有を図り意向の聞き取り確認をしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		支援計画書を提示しながら説明補足していき同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		面談の実施、日々の連絡ノートや送迎時必要に応じて相談の時間を設け情報共有し支援をおこなっています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	父母の会、保護者会は実施していないが保育参観では、親子活動を取り入れ保護者同士の交流の場にもなるような内容でおこなっています。	今後取り入れていきたいです。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		連絡ノートや送迎時、面談などで相談があった際には、内容に応じて適切に対応、支援しています。	職員間で情報共有し、相談内容に応じて迅速に対応支援できるように努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		おたよりを発行し園での様子、連絡事項等お伝えしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		契約の際に説明し、個人情報の使用について同意を得ている。記載されている物は鍵付きの倉庫に入れるなど取り扱いには十分に注意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		絵カードや視覚表示を用い、わかりやすいように配慮しています。保護者の方へは連絡ノート送迎時電話等での伝達を丁寧に行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		地域の行事を招待する行事はおこなっていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		保護者の方へは契約時にお話をさせてもらっている。マニュアルは全職員に周知し避難訓練時に発生を想定した訓練を実施しています。	契約時に保護者の方へ災害時等のフローチャート配布させていただいていますがより丁寧に説明していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		毎月、職員会議での机上訓練や子ども達と一緒に避難訓練をおこなっています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		利用の開始面談時に随時確認している。情報は職員間で共有し、万が一に備えています。	面談時に再度、確認を取っていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		利用開始前の面談時に随時アレルギーの有無の確認をしています。	確認を行い十分注意しながら行事のおやつを提供していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を作成し、訓練や研修を行い、安全管理が十分な中で支援を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		安全計画に基づく内容について周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットの記録を作成し、職員間で共有し会議等で話し合い予防に努めています。	引き続き職員間で共有し話し合い再発防止に努めています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		外部内での研修に参加し、職員間で共有しています。	職員間でも意識しながら支援していきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		事前に説明、同意をえたうえで支援計画書に記載、身体への危険が生ずる可能性がある場合のみ実施することとなっています。	身体拘束について、職員間で留意しながら支援していきます。	